## 大腸ESD(内視鏡的粘膜下層剥離術)を受けられる患者様へ

\*\*ID

担当医

経過	手術前日	手 術 当 日(術 前)	治療当日(術後)	治療後1日目	治療後2日目	治療後3日目
月日	**HIDUKE1	**HIDUKE2		**HIDUKE3	**HIDUKE4	**HIDUKE5
食事	<ul><li>・昼は消化の良いものをお出しします。</li><li>・昼食後より食べられません。</li><li>・水は飲めます(お茶・水のみ)。</li></ul>	・水分は飲めます(水のみ)が、便の性状が処置できる状態に整った後より飲水不可になります。(看護師がお知らせします)・食事は食べられません。 ・排便時は看護師が確認しますので、呼んで下さい。	<ul><li>・麻酔からしっかり目が覚めたら、看護師が 訪室し、水分摂取をお知らせします。</li><li>・食事は食べられません。</li></ul>	・食事は食べられません。	・昼より五分粥食開始。 ・食事形態が徐々に変更していきます。 ・間食は避け、病院食だけにして下さい。	・朝より全粥食に変更になります。
処置	・既往に糖尿病があれば、入院中 血糖測定を行うことがあります。	・検査者に着替えます。 ・朝6時から下剤を2時間かけて内服します。	・腹部症状など、全身状態の観察をします。 ・心電図と酸素濃度を測る機器がつきます。	・心電図と酸素濃度を測る機器が外れます。		20
内服 注射	・持参薬の内容を医師が確認し、必要分処方があります。 ・下剤を2種類内服します。 ・抗血栓薬の内服の継続・休薬の確認を します。	・出棟前から点滴をします。	<ul><li>・持続点滴をします。</li><li>・術後より抗生剤を投与することがあります。</li></ul>		・早ければ、点滴が終わります。	・退院後のお薬の内服については、 薬剤師からの説明があります。
全身管理 検温	・適宜、検温します。	・治療に行く前に検温をします。	・適宜、検温をします。	・適宜、検温します。	・適宜、検温をします。	・適宜、検温をします。
活動 安静	・特に制限はありません。		<ul> <li>・麻酔からしっかり目が覚めたら、トイレ歩行のみできます。(基本ベッド上安静です)</li> <li>・最初は看護師をよんでください。</li> </ul>	・採血結果確認後、病棟内は自由に歩けます。 ・午後よりシャワー浴可能になります。	・特に制限はありません。	・経過に問題なければ、退院となります。
検査	・採血があります。			・採血があります。		
リハビリ	・リハビリはありません。	・リハビリはありません。	・リハビリはありません。	リハビリ指示がある場合 ・リハビリ開始します ・症状に応じて座位、立位、歩行練習を 段階的に進めます。	リハビリ指示がある場合 ・必要に応じて筋力増強運動や階段 昇降練習などを実施します。 ・退院後の運動や生活における 注意点について説明します。	リハビリ指示がある場合 ・退院日のリハビリはありません。
説明指導	・爪を切っておき、化粧はしないで 下さい。	・アクセサリー類(指輪・ネックレスなど)、時計、義歯、湿布、 眼鏡、コンタクトをはずしているか確認します。 ・水っぽい便になればトイレのナースコールで看護師を呼んで 下さい。便の性状を確認します。	・腹痛や便に血が混ざっていたらお知らせ下さい。	・腹痛や便に血が混ざっていたらお知らせ下さい。		・次回外来受診日の説明をします。
			署名曰: 年 月 日	患者・家族(続柄: )	,	